平成２２年度第２回生駒市スポーツ振興審議会
会議録（要旨）

日時　　平成２２年１２月１４日（火）午前１０時から
場所　　生駒市役所　４０２会議室

出席委員（敬称略）
池田誠也、松岡誠、泉本憲人、佐川正巳、城山英章、髙山恒一、辻本丈夫、藤井均、藤井寛子、吉田利幸
欠席委員（敬称略）
（事務局）スポーツ振興課長 中井宏、スポーツ振興課係長 西政仁

案件
１　生駒市スポーツ振興審議会委員の変更について
２　生駒市スポーツ振興計画（案）の答申について
３　その他
・今後のスケジュール

（１）開会
資料確認
池田会長挨拶
中井スポーツ振興課長挨拶

（２）議事
１　生駒市スポーツ振興審議会委員の変更について
＜会長＞
「生駒市スポーツ振興審議会委員の変更について」事務局から説明願います。
＜事務局＞
真島委員に変わりまして、吉田委員が入りましたので紹介させていただきます。
・吉田委員の紹介

２　生駒市スポーツ振興計画（案）の答申について

＜会長＞

次に「生駒市スポーツ振興基本計画（案）の答申について」事務局から説明願います。

＜事務局＞

それでは、生駒市スポーツ振興基本計画について、策定委員会の座長でもあった副会長のほうから説明お願いいたします。

＜副会長＞

生駒として、必要なところや委員の気持ちを踏まえまして、生駒市スポーツ振興基本計画に取り組みました。内容としては、現在生駒市が行っていることから、５年 10 年を見据えたときにどうしていくかなどを色々考えさせていただきました。委員の皆様の意見を取り入れまして、表題にあるようにスポーツによって笑顔や元気が生まれるまちになればよいと思っております。

＜事務局＞

ありがとうございます。事務局からもご報告させていただきます。

・素案の概要について説明

＜事務局＞

訂正などありましたらお願いします。策定委員会のメンバーが４人入られているので、自由に経緯などお話いただきたいと思いますがいかがですか。

＜会長＞

計画を皆で考えたということで、委員名簿など掲載するために資料編などつくられたらいかがですか。

＜事務局＞

今回は答申の部分だけつけさせていただいているので、最終的には資料編のほうもつくらせていただきたいと思います。

＜委員＞

スポーツを行うきっかけやスポーツを行える環境ができればよいと思うので、事務局には頑張ってもらいたいと思います。

＜事務局＞

ありがとうございます。

＜会長＞

このような立派な計画ができたのだから、行政はしっかり取り組み、計画どおり進むように頑張ってもらいたいと思います。

＜事務局＞

まずは計画案についてはお褒めの言葉をいただきまして、策定議会の先生方も喜ばれるだろうと思います。事務局としては、安心していると同時にプレッシャーも感じていま

すが、実践していくための計画としていきたいと思いますので、皆様もバックアップのほうよろしくお願いいたします。
＜委員＞
　先日、ソフトボール大会があり、その終わった後、反省会をおこなったのですが、その場に若い人が多く、自治会と連携して何かできないかという意見がでました。生駒市には色々な協会もありますが、連携をとることにより、すその尾が広がっていくのではないかと思います。底辺の底上げをお願いいたします。
＜事務局＞
分かりました。ありがとうございます。
＜会長＞
では本案につきましてご承認をしていただいたと理解してよろしいでしょうか。
＜委員＞
はい。
＜会長＞
ありがとうございます。

3　その他
＜会長＞
次に「その他について」事務局から説明願います。
＜事務局＞
その他ということで、今後のスケジュールについてですが、答申書をつけまして本日づけで教育委員会に答申したいと思います。
＜事務局＞
今後のスケジュールについて説明いたします。
・答申のスケジュールについて
・パブリックコメントについて
＜会長＞
計画のスケジュールについてお話がありました。では、事務局にはこのスケジュールどおり進めるようお願いいたします。
＜事務局＞
他に、計画に関係なくてもよいので、意見などありましたらよろしくお願いいたします。
＜会長＞
やはり現役の選手にこういう会議に入ってもらえるというのは素晴らしいですね。他の自治体に話をしたらよく驚かれます。
＜委員＞
会議に毎回参加できなくて申し訳ないです。

＜会長＞
こちらこそ忙しい中出席いただき、ありがとうございます。こんなに実力のある選手がいることは生駒にとっても幸せなことだと思います。
＜副会長＞
藤井選手は、卓球という競技で今輝いておられるし、この火を絶やさないようにするべきだと思います。藤井選手も大変だと思いますが、手の空いたときに少しでもいいので子どもたちに卓球を教えることもしていただければと思います。そうすることによって、「卓球をしたい」といった子どもたちも育つと思いますし、小さい子どもにスポーツとよい出会いをしてほしいと思います。
＜委員＞
スポーツ振興を行ううえで一番有効だと思うのは、ローカル大会に出てもらうことだと思います。また、時間があれば是非顔を出してください。
＜委員＞
しかし、藤井選手にだけ頑張ってくださいと言うのではなく、生駒市としてもサポートは必要だと思います。生駒市の宝でもあると思いますので、もっと PR など必要なのではないでしょうか。生駒市民でも藤井選手が生駒市出身だということを知らない人はいると思います。そこは行政の仕事だと思うので、よろしくお願いします。
＜委員＞
広報で藤井選手の成績やスケジュールなど掲載して皆で応援するといったこともするべきではないですか。
＜事務局＞
毎回広報に掲載するのは難しいかもしれないですが、ホームページであれば可能だと思います。
＜副会長＞
若い人はインターネットを利用する方が多くなっているので、そこで藤井選手を知るきっかけになるかもしれないですね。
＜事務局＞
生駒市は今まで、そういう部分が足りなかったと思います。有名な選手がいてもなかなか PR できていなかった部分があります。
＜会長＞
広報紙にスポーツのことを毎回掲載するようにはできないのですか。
＜事務局＞
毎回は厳しいと思います。何かイベントなどある場合などは可能なのですが。努力はしてみます。
＜会長＞
その他何かございませんか。

＜委員＞
　［質問なし］
＜会長＞
ないようなので、これで平成２２年度第２回スポーツ振興審議会の議事を終わらせていただきます。